

東京都小中学校環境教育研究会

団体の概要

1964年に公害対策研究会として発足。その後、環境教育、E S Dと時代を反映した研究と教育普及を実践しています。低炭素社会、生物多様性社会、資源循環型社会を目指すことは持続可能な社会づくりに繋がります。「持続可能な社会のつくり手の育成」として環境教育・E S Dを推進し、将来世代の育成を行います。

研究テーマ

持続可能な社会づくりのための環境教育の推進
～つなげる環境教育の輪～

研究のねらい

公害の滅失、持続可能な社会の実現、S D G sの達成には、問題に主体的に立ち向かい、発信、行動する人材育成が不可欠である。環境教育の授業づくりの基となる「学びの地図」の作成を行う。

研究の内容

教師一人一人が児童・生徒の実態に応じ、自らすすんで環境教育の実践を構築することができるためのヒントとして「学びの地図」の作成を行う。

【「学びの地図」の作成】

- ・ 5・6年家庭科・総合
「自分たちの育てた綿×自分の思いが加わったエコなモノづくり」
- ・ 5年総合
「世界を見直して環境を考えよう」

【実践】

研究員の所属校で授業実践

研究の成果と課題

【成果】

- ・ 環境教育の授業づくりにおいて、「めざす社会像」や「育てたい力」を明確にすることで、具体的な取組を構築することができた。
- ・ 児童の学習意欲が高まり、生活や資源への関心が増した。

【課題】

- ・ 教員一人一人が現代の抱える環境問題をより一層深く知り、子供たちとともに考える必要性が明確になった。

今後の活動予定

新たな環境教育プログラム作成のために、様々な企業や関係諸機関との連携を図り、情報収集、研究を推進していく。

代表者・連絡先

代表者：
多摩市立連光寺小学校 校長 関口 寿也
連絡先：
江東区立辰巳小学校 校長 中村 太郎
03-3521-1164 tar-nakamura@koto-edu.jp